

「タオル帽子作成の会」を開催しました！

令和5年9月15日(金)、京都タオル帽子の会の講師の先生方をお招きし、タオル帽子作りを行いました。好きな色や柄のタオルを選んで、講師の指導のもと、ひと針ずつ思いを込めたタオル帽子を縫い上げました。参加者の皆さん、講師の皆さん、職員も一緒になって、和気あいあいと楽しいひとときを過ごすことができました。

開催の様子



参加者からの感想

- 帽子を作りながら、がんの不安感が少なくなりました！ありがとうございました♡
- 主人の為にと思って、心を込めて作り始めましたが、なかなか難しい作業でした。丁寧に教えて頂き嬉しかったです。有難うございました。
- 初めてタオルぼうしを作りました。医療従事者ですが、今までにはただばかりで、作成にこんなに時間がかかるものとは思いませんでした。今度は自分でチャレンジしたいです。



講師からのひとこと

環境が良くて、話し易いふんいきがとてもよかったです。来られた方は少なかったけど縫いながら話されてひととき和んで帰られたことはよかったと思います。準備等ありがとうございました。



令和6年度の開催予定は以下のとおりです。詳細は決まり次第、京都市立病院のホームページに掲載します。
第1回 9月20日(金) 13:30~16:00 第2回 3月21日(金) 13:30~16:00

「クリスマスカード・年賀状作り教室」を開催しました！

11月16日(木)、ピアサポーターくしだ氏が講師となり「クリスマスカード・年賀状作り」を行いました。お好みの型を選んで、はがきに型をおき、顔彩を刷毛で刷り込むことで、簡単にオリジナル年賀状を作ることができました。9名の方に参加いただき、たくさんの素敵な年賀状が完成しました！

開催の様子



参加者からの感想

- かわいいのができて良かったです。
- 皆さんとても楽しく年賀状作りをされていて初めての参加でしたが良い時間を過ごさせて頂きました。ありがとうございました。
- 年賀状づくりのしかたです♪友人や親せきの人も喜んでくれるかな？
- 色合いが難しかったけど楽しかった！
- 教えていただけて、とても楽しかったです。手作り年賀状は孫達も喜ぶと思います。ありがとうございました。
- みなさんと楽しく年賀状作りが出来て良かったです。
- たのしいハンガがき有難うございました。



講師からのひとこと

皆様が好きなお色を型にすりこんで素敵な年賀状が出来上りました。昇龍の年です。いいこといっぱい笑顔で過せますように親しい方に送り返しましょう。

令和6年度の開催予定は以下のとおりです。詳細は決まり次第、京都市立病院のホームページに掲載します。
第1回 6月27日(木) 13:00~15:00「型染めのうちわ作り」 第2回 11月28日(木) 13:00~15:00「年賀状作り」

内視鏡下手術支援ロボット (ダヴィンチSP) の導入について

～新機種は関西初！従来機種Xiと合わせて2台体制～
～切開創を最小化し、より低侵襲で整容性に優れた医療を目指します！～

京都市立病院では、地域がん診療連携拠点病院として、安全で質の高いがん医療の提供を目指しています。この度、関西で初(国内6台目)となる内視鏡下手術支援ロボット新機種、ダヴィンチSPを導入しました。特に適応が想定される泌尿器科、消化器外科、婦人科(※)等の症例を中心に、幅広くがん症例等に対して、精度の高い手術療法の提供に努めてまいります。

※婦人科症例は将来的に対応

これまでのダヴィンチ手術実施状況や症例数等の詳細は、特設ページこちらへ



■ダヴィンチSP (Da Vinci SP (Single-Port))

令和5年にダヴィンチの最新機種としてSPが国内で販売開始されました。この機種の特長は、従来機種のXiがマルチポート(アームが4本)であるのに対して、**日本初のシングルポート(アームが1本)となっており、より低侵襲(身体への負担や痛み軽減)かつ整容性(傷跡などの美容面)に優れた手術を実現できることや婦人科症例との親和性が高いこと**です。現行のXiと共に運用することで、より幅広い症例への対応が期待できます。



ダヴィンチ手術をはじめとして、当院で手術を受けられる全ての患者さんに、安全で円滑な手術治療が提供できるよう努めております。ダヴィンチSPについては、令和5年12月に機器の納品が完了し、令和6年1月から関連設備・器材の準備、職員のトレーニングを十分行い、2月から2台体制による手術を開始しております。

京都市立病院では、全国的にも先進的な取組を行っていくとともに、市民のいのちと健康を守る取組をより一層進めてまいります。

みぶなの会

自分らしくがんと向き合うために



- 2 「みぶなの会」サロンの開催
「みぶなの会」学習会を開催
- 4 就労中の患者さんに知ってほしい
ハローワーク西陣・出張相談会について
- 5 投稿 みぶな広場
- 6 京都市立病院トビックス
内視鏡下手術支援ロボット
(ダヴィンチSP)の導入について

「みぶなの会」 サロンの開催

「みぶなの会」は、がん患者さんやそのご家族が、治療の不安や悩み、体験したこと、日ごろ気を付けていることなどをお話する交流の場として、北館7階のサロンルームで開催しています。会を重ねることで交流が深まるとともに、積極的な情報共有の場にもなっています。

人と話をしたり、話を聞くだけでも、気持ちが軽くなるものです。

ぜひ、気軽にご参加ください。

令和6年度の開催予定は以下のとおりです。詳細は決まり次第、京都市立病院のホームページに掲載します。

- **日時** ※学習会とサロンは同日開催
第1回 5月22日(水) 13:30~15:30 第2回 7月24日(水) 13:30~15:30
第3回 10月23日(水) 13:30~15:30 第4回 2月26日(水) 13:30~15:30

- **場所** 京都市立病院 北館7階サロン
- **申込み** 各回、開催1か月前より募集を開始します。参加希望の方はメールまたは電話でお申込みください。

【問い合わせ先】

がん相談支援センター ☎075-311-5311代
(月曜日~金曜日 9:00~16:00)
詳しくは、京都市立病院ホームページを検索



がん患者・家族のサロン「みぶなの会」学習会を開催しました

令和5年7月26日に「音楽療法ってなあに？～一緒に聞いて 触って 癒されて～」と題して学習会を開催し、7名の方に参加いただきました。

講師：洛和会京都音楽療法研究センター 音楽療法士 柴田 恵美氏・安達 紗代氏

音楽の力でできること ～心と体に作用する音楽療法とは～

みなさん、音楽療法をご存知でしょうか？
古代エジプトやギリシャ、中世ヨーロッパでは、“音楽”は医療の一環として組み込まれ、ルネッサンス・バロック期においては、音楽と医療の総合的な治療が行われるほど、なくてはならない存在でした。
現在、音楽療法は、世界中の医療・福祉・心理・教育などの現場で、効果をあげている臨床行為のひとつとして行われています。
かつてプラトンが「音楽は魂の薬である」と語ったように、“音楽”には私たちの心や精神、身体や認知にはたらきかける力があります。音楽療法では患者さんや対象者が必要とするケアを行っています。



●音楽療法の内容

- 歌唱・演奏・即興・鑑賞・創作活動・語るを通して、
- ・情緒的刺激を与える
 - ・社会的統合を促す
 - ・コミュニケーションを促す
 - ・感情表現を可能にする
 - ・連想を引き出す
 - ・気分転換をもたらす

学習会では「体験すること」を中心とし、直接楽器に触れ親しむことで、最初は緊張していた参加者のみなさんが段々と笑顔になり、ウエルビーイング・よりよく生きることに繋がるひとときとなりました。多くの方から「楽しかった」「病気のことを忘れることができた」等の声が寄せられました。



令和5年10月25日に「笑いヨガ ～笑う門には福来る～」と題して学習会を開催し、13名の方に参加いただきました。

講師：笑いヨガティーチャー 木下 尚子氏 (Laughter Yoga International University 認定)

*笑いヨガとは
「笑いヨガ」は、笑う動作をする健康体操であると考えます。無理に笑うのではなく、笑うための筋肉を鍛え、身体と心を最適化することで、心身の健康につながる方法として行っています。
～日本笑いヨガ協会ホームページより抜粋～

「ほっ、ほっ、ハハハ、ほっ、ほっ、ハハハ、イエイ!!!」
「いーぞ、いーぞ、イエイ!!!」
会場から笑いヨガティーチャー 木下先生の元気いっぱいの声と手拍子が聞こえてきました。
参加者の皆さんは、最初は少し恥ずかしそうな様子でしたが、先生の笑顔と掛け声でだんだんと声も身体の動きも大きくなり、ウォーミングアップに取り組みました。
中盤は笑いヨガの動きを取り入れながら、参加者それぞれできる範囲で楽しく取り組みました。なんと、疑似ハワイ旅行にも行きましたよ!!
笑うことで大きく深呼吸することに繋がり、少しの動きでも身体全体がほかほかしました。



終了後には「笑いヨガと聞いて絶対参加しようと思った。」「いい運動になった、またやってほしい。」「生活にも取り入れていきたい。」という声が聞こえてきました。

就労中の患者さんに 知ってほしい

相談無料

ハローワーク西陣・出張相談会について

ハローワーク西陣では、がん等の治療を続けながら、働きたい!という方へ向け、専門の就職支援担当者「就職支援ナビゲーター」を配置し、マンツーマンで就職を支援しています。支援の対象となる方は、がん等の疾病により、長期にわたる治療等のために離職・転職を余儀なくされた方であって、就職を希望する方などが対象です。

- ※在職中であっても、就労の継続や退職に係る相談等、安定所の助言・支援を希望する場合には対象となります。
- 窓口での相談対応の他、病院で出張相談を実施中です。京都市立病院には、毎月第二(木)11:00~12:00に定期出張相談を実施しています。なお、病院の出張相談は、がんの治療や療養生活に関する相談の窓口である「がん相談支援センター」と、患者さんの同意の上、治療状況・経過・今後配慮すべき点等の情報を共有することで、希望や状況に応じた職業相談・職業紹介を実施しています。

- 相談例
- ・仕事をやめて再就職を希望している
 - ・これから転職を考えたい
 - ・復職したけど体力的な問題などから転職を考えている
 - ・退職する前に、利用できる制度を知っておきたい

日時 第2木曜日 11:00~12:00
※3日前までの予約制
(事前に簡単な聞き取りを行います)

担当者 専門相談員(就職支援ナビゲーター)

出張相談の風景



治療と仕事の両立について悩むことがあれば、ぜひお気軽にご相談ください。

予約
受付

京都市立病院 がん相談支援センター
☎075-311-5311